



❖ 新しい生活様式で科学を楽しもう ❖

今年度は4月当初より新型コロナウイルスの感染拡大防止のためすべてのイベントが中止となり、5月には活動拠点の長土堀青少年交流センターも1ヶ月間閉館になりました。子どもたちが集まって事業が再開できたのは6月20日の子ども科学スタジオが最初で、入口での検温、連絡先の記入、マスク着用と手洗いはもちろんのこと、3密を避けるために参加人数を制限し、部屋の換気と机・椅子の配置も工夫しました。また同時に、参加申込方法を先着順から事前予約制に変更するための準備を進め、7月からはホームページ上に作成したWeb申込フォームで応募してもらい、前もって電子メールで予約の可否が受け取れるようにしました。これによって、当日の受付での待ち時間がなくなり参加者の利便性は向上しましたが、一方で、応募者多数のため毎回抽選になっており、一刻も早いパンデミックの終息を願っています。現在、Web応募システムのセキュリティとスマートフォンでも使い勝手が良くなるようにホームページを改訂し本格運用しています(写真)。この4月からは、これまで申込方法が往復はがきかファックスだったおもしろ実験・観察教室もホームページから応募でき、必要な連絡もメールで済むようになります。今後、その他の事業にも広げて行く予定です。

通信アプリZoomを使ったイベントも開始しました。算数チャレンジクラブでは、NHKプロフェッショナル仕事の流儀にも登場した数学教師の井本陽久氏による山梨県からのリモート授業が実現しました。テーマは“自分で考えることが楽しくなる講座”で、リモートでありながら65名の受講者の反応を確かめつつテンポよく課題が展開し、テーマ通りの楽しい授業になりました。そのほか、金沢市小・中学校児童生徒科学研究作品表彰式は、密を避けるために複数の部屋を使ってリモートで開催しました。

令和2(2020)年度 実施事業の報告

▼ 財団ホームページにイベントカレンダーがつきました! ▼

おもしろ実験・観察教室

あぶりだしおよびpH試験紙を利用して絵をかこう (3年生)

3月13日 9:30 ~ 11:30

対象 小学3年生

おもしろ実験・観察教室

炎の神秘を探ろう ~炎色反応から~ (4年生)

3月13日 9:30 ~ 11:30

対象 小学4年生

子ども科学スタジオ

紫外線であそぼう

日時	午前 10:30 ~ 12:00
	午後 14:00 ~ 15:30
場所	金沢市長土堀青少年交流センター 1階 交流活動室
対象	年長児、小学1・2年生
参加費	100円
定員	各回 16組

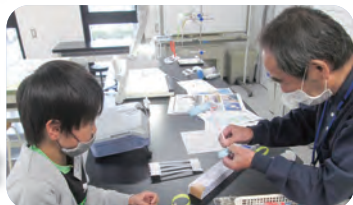
子ども科学スタジオは、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、当面の間、対象児(年長児、小学1・2年生)1名と保護者1

おもしろ実験・観察教室

小学校3年生～中学生を対象に当財団の実験室や野外で理科のおもしろい実験や観察を行う事業です。今年度、3・4年生の教室は年間12回の予定でしたが、3年生が9回、4年生が8回、また、5年生～中学生は年間10回の内7回行うことができました。また、角間の里山の自然探検や手取川での石の観察などの特別講座も限られた中で充実した活動となり、科学好きな子ども達がたくさん参加することができました。

3・4年生教室

おもしろい ヒコークをつくろう



はじめにどうとばすといいかわからなかったけれど何度もするとよく飛ぶようになりました。やったこともない実験でした。

5年～中学生教室

電気源を探り、 発電のしくみを学ぶ



電気を毎日休みなく作っているところがあると分かったので、大事に電気を使いたいと思った。ソーラーカー作りも楽しかった。

特別講座

角間の里山自然探検 夏教室



角間の里にはいろいろな昆虫がいることがわかりました。生き物には命があるから標本を大切に勉強したいと思います。

足もとの石から 地球を探ろう



先生に石のでき方を聞きました。いろいろな石を見つけることができました。

年間講座

❖ 児童科学教室

2年間継続の受講生を5年生時に募集して行う科学教室で、小学5・6年生対象の事業です。泉、中央、明成の3教室で187名の児童が学びました。

令和2年度は、2月13日の修了式をもって終了しました。



❖ サイエンスクラブ

1年間の受講生を募集した科学教室で、中学1～3年生を対象とした事業です。今年度は29名の生徒がクラブ員として登録され、3回しか実施できませんでしたが充実した活動となりました。通常、年間10回の予定で指導員の先生方による実験や自由研究、県外研修、大学での最先端の研究の実習等を行っています。



❖ 算数・数学チャレンジクラブ

1年間の受講生を募集して行う算数・数学の教室で、小学5・6年生と中学生対象の事業です。

2020年度は、150名の小学生と90名の中学生が受講しました。小学校から継続して受講する中学生が多く、静かな中にも熱心な学習ぶりが垣間見えました。

学校の算数・数学とはひと味異なり、「地図は何色でぬれるか?」「立体4目並べ」「グラフ電卓を使ってグラフ通りに歩いてみよう」のように、制作活動やパズル、自分の体を使うなど、楽しみながら知恵を絞り、頭に汗をかいて、考える楽しみを味わっています。「算数する心」や「数学する心」が育ってきているクラブ員が年々増えています。

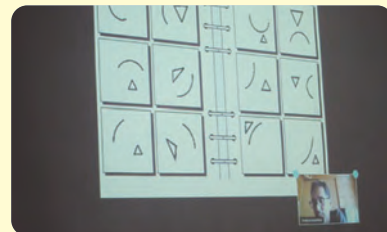
【クラブ員の感想】

今日歩いてグラフを作るという活動をしました。知らない人ばかりで組んで、最初は大丈夫かと思ったけれど、みんなで意見を出し合ってきたのでとても楽しかったです。何よりいかにグループ全員の心が合っているかが成功を導いてくれて、達成感がありました。



【クラブ員の感想】

ぼくは正四面体と四角錐を合わせたら七面体になると思ひ込んでいました。けれど、結局五面体になったので驚きました。先生が山梨県からリモートでリアルタイムに出してくれた難問がとても難しかったけれど、その分解けた時すごくうれしかったです。好きな算数がもっと好きになりました。



科学研究作品展

子どもたちが主に夏季休業期間中に行った研究作品を展示しました。市内小中学校から小学生776点、中学生114点の計890点の応募がありました。

期間中、1,194人の参観者で賑わいました。

場所

長土塀青少年交流センター

期間

令和2年

11月7日(土)～15日(日)



【参観者の感想から】

- 友達の作品を見て、自分もがんばろうと思った。
- 子どもたちにとって、身近なテーマを丁寧に根気よく調べてあって、とても良いと思う。
- 子どもの視点から疑問を持ったことを調べていて、大人の気付かないことも調べていて、面白かった。
- 大変見やすく並べられていて、比較することができて、大変良かった。
- じっくり時間をかけた研究もあり、大変すばらしいと思った。



科学研究口頭発表会

子どもたちが自分の研究について口頭発表する会で、子どもたちの発表能力を育成し、さらに大学教員・院生からその発表へのコメントを得ることで研究発展への応用力を育成していこうとするものです。

発表会は7タイトル、7人の参加で行いました。

場所

長土塀青少年交流センター

開催

令和2年

11月14日(土)



【参加者、参観者の感想から】

- 審査員の先生に、わかり易いと褒めてもらえたことがうれしかった。
- 先生方から新しいアイデアがいただけるので、また、チャレンジしたい。
- 発表原稿を作る時、研究の際に気付かなかったことに、気付くことができた。また、他の人の発表も参考になったので、良い経験になった。
- コロナ対策で人数が少ないと聞いていたが、子どもが集中して聞くには丁度良い長さで、内容も充実していた。(保護者)

子ども科学スタジオ



子ども科学スタジオは未就学の年長児から小学校1・2年生の児童を対象に、科学実験や自然観察を毎週土曜日の午前と午後の2回ずつ開催しています。

活動は毎週異なる内容で設定され、スタジオでは身近にある物を利用したものづくり、それを使った科学遊びや科学的な内容についての実験などのほか、年5回野外での自然観察会も開催しています。

内容としては、音・光・空気・水・力・化学変化・電気などによる身の回りの現象や、動植物・化石・宇宙などをテーマとしたいろいろな実験や観察を行っています。これらを通じて、科学や自然のおもしろさ・不思議さを感じ、親しみを持ってほしいと願っています。

本年度は年間43回を計画していましたが、コロナ禍により6月13日まで中止となりました。3密を避けるため、事前申し込み制に変更して参加人数を制限したほか、換気、手洗い、消毒の環境を整え、6月20日よりスタートし、参加者は例年の半数の約2,000名となりました。

【利用者の感想】

子供達から

- 空気のバズーカほうがあることをはじめて知ったし、空気の力でものをふっとばせることを知った。
- ペーパークロマトグラフィーは色のうごくスピードや、けい光色のある色や何色でその色を作っているのかをしらべるおもしろいものでした。
- 名人のかいせつがわかりやすく、鳥のとくちょうがわかりやすかったです。家が近くにあるので、またきかいがあったらここにきて野鳥を見ようと思います。いろいろな鳥を見られたのでべつの鳥もみたいです。



保護者から

- 水を使うことに夢中で、作ったものずっと集中して実験していました。今回、何でかなあと思う実験ばかりで、もしかしてこうなんじゃない?と自分から思いつくことが多く、自分なりに試していました。半年ほど前より、自分で思いつきながら実験を進めるようになってきて、こうしてみたらいいんじゃないか?という考え方が出てくるようになっていきます。今日もとても楽しそうに集中していました。
- 火山について初めて考えたようで新しい興味がわいたようです。顕微鏡を初めて使ったことも嬉しかったようでずっと真剣にのぞいていました。いつも集中して楽しんでいる様子が見られて感謝です。

子ども科学スタジオ・オープンスクール



就学前年長児や小学生を対象とした校外活動の一環として、平日に子ども科学スタジオで実験教室を行っています。長土塀青少年交流センター1F交流活動室に来てもらって1時間程度の理科実験や工作を行います。活動はスライムや傘袋ロケットなど、いくつかのテーマの中から選んでいただくことができます。

【利用者の感想】

今回の活動は「空気を〇〇するよ」と分かりやすい課題が示していただいたので、子供達も「これをするのだな」とわかりやすかったです。そして段階があり、見る→集める→力を使うという流れもよかったなと感じます。このように伝えていけば子供達は理解していけるのだなと私達の学びにもつながりました。夏祭りに一度、射的屋さんで空気砲を作ったこともあり、子供達にもとても親しみがありとても喜んでいました。大きな空気砲も子供たちの興味が太いに乗りとても楽しんでいました。(年長児担任)

科学相談

小学3年から中学生を対象に、科学研究に興味を持ち、研究の進め方のアドバイスを受ける「ジュニア科学者養成講座・中期」には小学生2名の応募がありました。7月～8月の期間8単位24時間で、大学院生等からの指導で研究を進めました。市の作品展で優秀賞1点、優良賞1点、県作品コンクールで優秀賞1点、全国大会のシゼコンで佳作を受賞しました。

また、夏休み中の学校に児童の科学研究の相談に出かける「出張科学相談」を3校6回実施して、夏休みの研究の計画やまとめに役立ててもらったことが、できました。



【利用者の感想から】

- いろいろな実験をする時に実験器具や実験室を借りられて助かりました。(中期 参加者)
- 参加者の子どもの意欲に感心しました。疑問を解決する力を養うことは将来につながると思いました。(中期 指導者)

出前科学スクール

主に、こども園等の年長児や小学生などを対象とした出前型の実験教室です。今年度は、感染症拡大防止に配慮しながらも13団体23回のスクールを開催することができ、たいへんうれしく思います。



【利用者の感想から】

スライム作り

子どもたちはスライム作りができることを心待ちにしていました。様々な液体を混ぜていくうちに少しずつスライムができてくる様子に驚いたり、色が混ざる様子を見て感動したりする姿を見て、スライム作りを経験させてあげることができて良かったなあと思いました。ありがとうございました。

特別事業

ジュニア科学者養成講座 長期

子ども科学財団既存事業に参加している子どもたちの中から、優れた科学研究をし、さらに深く研究したいという意欲を持つ子どもたちをバックアップする取り組みを実施しています。

今年度はコロナ禍もあり、7～8月という短い期間でありましたが、8単位24時間を金沢大学大学院生や学生、財団OB等の指導のもと、研究を行いました。

受講者の内訳は小学生4名、中学生3名の計7名でした。市作品展では優秀賞6点、県作品展では特別賞(県教育委員会賞2点、県科学教育振興会長賞1点)優秀賞2点、また、全国展ではシゼコンで佳作1点、全国児童才能開発コンテストで全国都道府県教育長協議会会長賞を受賞しました。



算数・数学オリンピック支援講座

毎年6月に行われる算数オリンピックや広中杯などに挑戦する志の高い児童・生徒を支援します。年間11回行い、難問に挑んでいます。今年度のクラブ員は53名でした。算数オリンピック検定は今年はコロナ禍のためトライアル検定のみでファイナル検定はなく、しかも自宅受験になりました。クラブ員からは19名が挑戦しました。来年度こそトライアルを突破し、ファイナルに合格しようと、毎月張り切って講座に参加しています。



【クラブ員の感想】

今日の講座の問題は、とても難しかったです。初めは法則など何も知らずに解こうとして行き詰ったけれど、先生からアドバイスを受けて少しは進むことができました。それでもなお難しかったです。最初と比べると、累乗や連立方程式に強くなった気がします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「交流事業」、「産業・文化・教育から科学を学んでみよう」、「SSH(スーパーサイエンスハイスクール)教室」、「WWL(ワールドワイドラーニング)教室」は中止しました。



この財団だよりに掲載している事業への参加者数などの資料は財団ホームページに資料編として掲載しております。併せてご覧ください。

財団では寄附を募集しております

当財団は、主に金沢市に在住する児童生徒等の課外における科学的な活動などを支援するとともに、その普及・発展に努め、科学の心を育むことを目的に、「児童生徒等を対象とした課外での科学に関する活動」、「児童生徒等の科学の心を育てるための普及啓発活動」、「科学に関する諸団体や国内外の児童生徒等との交流活動」を柱とした事業を実施しています。また、これら事業の高い公益性が認められ、「公益財団法人」として、平成23年4月より運営を行っております。

事業に必要な資金は様々な団体からの助成金や事業参加者からいただく参加費、そして財団が所有する限りある基金を取り崩して行っております。教育普及活動は一朝一夕で成果のあがるものではなく、長期にわた

り継続していくことでその効果が発揮できるものと認識しております。こうした意義ある事業を今後とも継続発展させ、一人でも多くの子どもたちの科学の芽を育てていくためには、多くの皆様方からの温かいご支援が不可欠と考えております。

なお、公益性の高い団体へ行われる「寄附」はその寄附者に対し、税制上の優遇措置が認められています。財団では、多くの方々からのご支持、ご寄附をいただき、もっと多くの子どもたちに事業へご参加いただける環境づくりのため前進していきたいと考えております。

以上、当財団の事業活動にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

金沢子ども科学財団だより

第18号

令和3(2021)年 3月発行

公益財団法人 金沢子ども科学財団

〒920-0865 石川県金沢市長町3丁目3番3号

Tel: (076) 221-2061 Fax: (076) 221-2062

メールアドレス kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp

ホームページ <https://kodomokagaku.or.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/kodomokagaku/>

その他詳しくは、お電話でお問い合わせもしくは、財団ホームページをご覧ください。



金沢子ども科学財団

検索



長町3丁目3番3号